



## せきゆ なに 石油は何からどうやってできたの

### おおむかし 大昔のプランクトンの死がいからできた

プランクトンは、海の中うみ なかにいる小さな生物ちい せいぶつのことで、プランクトンが死ぬしと、その死しがいは、土つちや砂すなといっしょに海の底うみそこに少しずつ積み重つかさなっています。数百万年すうひゃくまんねんから数千万年すうせんまんねんという長い年月なが ねんげつの間に、さらに、土つちや砂すなが積み重つかさなっています。

そのあと、プランクトンの死しがいは、長い間なが あいだに大地だいちの圧力あつりょく（物ものをおしつける力ちから）や熱ねつのはたらき、それに、土つちの中なかにいるバクテリアさいきん（細菌）のはたらきによって、石油せきゆに変わりました。

### せきゆ ところ 石油がたまる所

石油せきゆは大地だいちの圧力あつりょくでしぼり出だされ、しだいに移動いどうしていき、すきまの多い砂岩おお さがん（砂すなのつぶが固かたまってできた岩石がんせき）などの中なかにたまります。このように、石油せきゆがたまっている所ところを油田ゆでんといいます。

石油せきゆがたまるといっても、水みずがたまるようにたまるのではなく、砂すなつぶと砂すなつぶの間あいだの目めに見えないような小さなすきまはいに入いっています。

### せきゆ み ところ 石油がたくさん見つかる所

現在げんざい、中東地方ちゅうとうちほうで石油せきゆがたくさん見つかるのは、大昔おおむかし、そのあたりにテーチス海かいという広くて浅あさい海うみがあったからだといわれています。そこは、プランクトンの死しがいがたまるのに適てきした海うみと、石油せきゆがたまりやすい条件じょうけんが、よくそろっていたからだと考えかんがられます。

（監修・国司 真）

